

《高井八幡神社》

高井八幡神社をつつむ一帯の森を、以前は「天神原（てんじんばら）」と呼んでいました。

天から地上に降りてこられた天照大神をはじめ、七人の神を祭っています。讃岐の国の国司をしていた菅原道真（すがわら みちざね）公がこの地に立ち寄られたという伝説もあり、「窪天満宮」とも呼ばれています。境内には、たぬきの霊を祭った「三光姫（さんこうひめ）神社」があります。

神社入口に立つ神名石には、三輪田米山が七十二歳で書いた力強い筆致の「高井八幡宮」の文字が彫られています。



【鳥居】



【本殿】



【三光姫神社】



【神名石】